

第6回「こえる場！」ニュースレター



日時：令和元年8月5日（月） 午後2時30分～午後4時30分
場所：芦屋市保健福祉センター3階多目的ホール

市長あいさつ



市長
いたう まい

平成29年度から「未来へ向けた成長戦略型」の行政改革を5か年計画で進めており、人口減少・少子高齢化に起因する様々な課題の解決を中心にすえ、本市が、より魅力あるまちとなるよう取組を展開しているところです。

本年度は、この行政改革の中間年度にあたります。これまでの活動を基盤に、本市の「目指すべき未来」に向けた「創発の場」として、更なる活動の展開が図られることを期待し、皆さまと様々なアイデアを出し合い、実現できればと思っております。

行政改革の取組の経緯、これからの「こえる場！」について

行政改革は、阪神・淡路大震災で被害を受けて、平成15年度に財政非常事態宣言を行い、およそ5年ごとに見直してきました。

行革というと賃金や採用を減らすイメージですが、現在取り組んでいる行革はそうではありません。財政面の工夫に加え、根本的にやり方を考え直し、今後人口が減っていく中で様々な課題に対応するために市だけではなく、市民、民間の皆さんと課題解決をするチャンネルを持ちたい、と思いつく取組を進めています。



企画部
総合政策担当課長
島津 久夫



福祉部
地域共生推進担当課長
吉川 里香

今年度は、地域で起きている課題に関し、これまでも企業の社会貢献という位置づけで取り組んでこられたこととかけあわせて、新たな取組を検討していきたいと考えております。

今後に向けて、今年度の取組を土台にしてあるべき「こえる場！」の姿を形作っていき、人々の笑顔のあふれる全世代がすみよいまちづくりにつながる取組を進めていきたいと考えております。



新規参画企業団体の紹介



(株)笠谷工務店
笠谷 泰宏 氏

【株式会社笠谷工務店】

弊社は芦屋で113年商売をしており、何か地域に貢献できないかと色々な形で参画しており、こちらでもぜひ何か協力させていただければという思いで参加いたしました。できる限りのことを頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

※取組の詳細については、『「こえる場！」企業・団体取組紹介まとめ』をご覧ください。

グループワーク

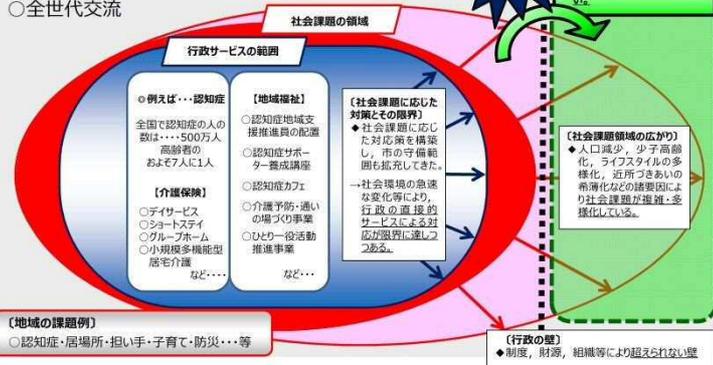
「こえる場！」を通じて芦屋市が目指す姿（公共私によるまちづくりへのパラダイムシフト）

「こえる場！」のビジョン

官×民で描く人生100年時代 誰もが豊かに暮らせるまちづくり

【まちづくりのテーマ】※喫緊の課題があり、民と協働で解決したい分野

- 高齢者の社会参加
- 健康増進
- 全世代交流



「こえる場！」のビジョン

官×民で描く人生100年時代
誰もが豊かに暮らせるまちづくり

「こえる場！」の狙い

行政の壁を越えて、民との協働によって新たなアイデアを生み出し、ともにまちづくりを進めることで、複雑・多様化した課題の解決を図りたい

今回のグループワークの目的は、次の「こえる場！」の展開を考えていくために皆さんに情報を出し合ってくださいことです。

これまで行政が中心となってやってきた部分が、行政だけではやっていけなくなる時代が来る中で、いろんな団体の皆さんと協働で様々な取組を展開していきたいと考えています。

今年度は、このプロジェクトが何故できたのか、原点に立ち返って、人口減少、少子高齢化が進んだときに喫緊の課題となる高齢者の社会参加、健康増進、全世代交流をテーマに、取り組んでいることやアイデアを出し合ひましょう。



市民参画課
御宿 弘士



(福) 芦屋市社会福祉協議会
山岸 吉広 氏

【地域からの声】

地域の皆さまと見守り、支え、支え合うことで地域福祉を推進していますが、支える側も高齢化してきて、人材がいない、担い手不足、後継者不足という課題が出てきています。

この場に参加し、企業の皆様の力をお借りして一層地域福祉を推進していきたいと考えています。

盛んなアイデア発信が行われました！



各グループ発表



高齢介護課
篠崎 紘志

【テーマ】

居場所・学び

【取り組んできたこと】

成年後見制度・家族信託・金融セミナー、
認知症サポーター養成講座

【取り組みたいこと】

高齢者と子どもの世代間交流のできる場所、住民や地域で活動する団体がつながり助け合える地域づくり、地域特有の課題の把握

【具体的なアイデア】

行政での窓口相談の充実、ワンストップサービスの場、高齢者生活支援センターとの協働、関心が高いテーマ（防災等）のセミナーを実施

【テーマ】

多世代交流の場

（様々な年代の人が交わりながらいきいきと過ごせる場所）

【取り組んできたこと】

介護予防教室の開催、ラジオ体操、盆踊り、イクメンを育てて親子で自然を学ぶ、キッズスクエア、地域情報発信

【取り組みたいこと】

おじさんが過ごせる居場所、保健室カフェ、体育館の催しのPR、注文をまちがえる料理店、街角ピアノ（音楽で人を笑顔にする）、防災キャンプ

【具体的なアイデア】

広報紙に民間切り口のコラムコーナー、自然物の工作、大人と子供で作る紙芝居



青少年育成課
山崎 元輝



生活協同組合コープこうべ
藤井 智生 氏

【テーマ】

おじさんのサードプレイス

【取り組んできたこと】

つどい場、料理教室、健康体操、プラモデル合宿、森林ボランティア、公園の美化活動等

【取り組みたいこと】

気軽に通える場所づくり、地域の担い手発見、防災ネットワークの構築、高齢者が孤独にならないネットワークづくり

【具体的なアイデア】

DIY 教室、パブリックビューイング、各地域の公園管理者、お一人さま同士のお見合い企画

【テーマ】

地域とのつながりをどう保っていくか

【取り組んできたこと】

健康増進プログラム、防災拠点、喫茶スペース解放、ケアローソン、地域・大学との連携、子育て世代の居場所

【取り組みたいこと】

全市で健康増進プログラム促進、市民トレーナー養成、シニア・子育て世代の居場所づくり、パブリックビューイング、

【具体的なアイデア】

預かり保育、学童で高齢者の参画
地域行事での企業とのコラボ



(福) 芦屋市社会福祉協議会
宮平 太 氏



市民参画課
飯星 雄麻

【テーマ】

当事者家族に向けた情報発信

【取り組んできたこと】

障がいのある人・大学と連携したカフェの運営、
職業訓令、スマホ講座

【取り組みたいこと】

SNS の広告、障がいのある人の居場所づくり、
気軽につどえる居場所

【具体的なアイデア】

地域の空きスペースの利用、笑いヨガ、ラジオ発信
元気な高齢者に昔話を話してもらう場

【テーマ】

全世代へのアプローチ

【取り組んできたこと】

高齢者に対する見守り、生きがいデイサービス、
ホームページでの絵本の紹介

【取り組みたいこと】

イヌメンZダンスをアレンジして、たくさん子どもたちや高
齢者のかたに楽しんでもらいたい、昨年度の取組の発展

【具体的なアイデア】

個別で訪問する仕事(コープこうべ等)と情報を交換するルート
や仕事づくり、子ども・子育てのイベント開催



生活援護課
大場 由裕



【グループ発表を聞いて】

テーマの設定の切り口はそれぞれですが、背景にあるのは、人口減少や少子
高齢化で、ネットワーク化することが一つのキーワードになっていました。

その手法として、学びの場、子育ての場、そもそもその情報が届いていない
人にどう情報を届けるのか、という考えがありました。

今回いただいたテーマと考え方について、事務局で整理し、発信させていた
だきたいと思います。

次回の「こえる場！」



それぞれのグループで出た意見で関連性の強いものはつなげていき、昨
年度の取組で他の地域でも展開できそうな取組は地域の中でブラッシュア
ップするなど、昨年度の取組をベースにしながら整理をしたいと思います。
次回は、10月頃にこのような場を設けたいと思います。

企業・団体等で実施するイベントの周知等
お知らせする内容等がありましたら
地域福祉課までご連絡ください！

《お問合せ》 芦屋市福祉部地域福祉課
TEL : 0797-38-2040 FAX : 0797-38-2060
Mail : chiikifukushi@city.ashiya.lg.jp